

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)学校法人 京都インターナシ	階数	地下1階,地上2階
建設地	京田辺市田辺勇田63-1、63-2、62-3	構造	木造
用途地域	第1種中高層住居専用地域,第1種住	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,250 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	
竣工年	2022年4月 竣工	評価の実施日	2022年3月22日
敷地面積	3,635 m <sup>2</sup>	作成者	村上博之
建築面積	1,119 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,427 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 74%

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア=2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア=2.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア=4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	インターナショナルスクールの小学校から大学まで兼ね備えた教育施設であり、建物内の断熱性能を高め、エネルギーの自給も視野に省エネルギーに努めた。
その他	0
Q1 室内環境	窓の開閉部を極力取りながら、外壁の断熱とのバランスを考え、極力自然の光、風などを感じられるように努めた。
Q2 サービス性能	内装材に出来る限り自然素材を取り入れ、木のぬくもり、質感などを目的に積極的に取り入れた。
Q3 室外環境(敷地内)	周囲の建物との関係上、当該建物の高さを抑え、特に南側の隣接する敷地への圧迫感が無いように配慮した。
LR1 エネルギー	建物内の断熱性能を高め、LED照明器具など、出来る限り省エネ性の高い機器を設置した。
LR2 資源・マテリアル	出来る限り自然素材への採用を積極的に計画した。
LR3 敷地外環境	周辺への影響を考慮して、空調機器の屋外機は北側に配置し、南側の南側の壁面には、必要最小限の窓等開口部とし、子供たちが利用する運動場なども北側に計画し、南側隣接地や住宅への影響を極力少なくする計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される